

三原のゆるキャラ誕生にむけて!?

第1弾

ゆるキャラが熱い

近年、イベント・キャンペーンや地域おこしのキャラクターとして様々な地域で「ゆるキャラ」が誕生しています。「ゆるキャラグランプリ2012」では全国47都道府県から865体の「ゆるキャラ」が参加し、広島県からも14体が参加した結果、竹原市の「かやくパンダ」が120位となり、県内で一番の得票数を得ました。この「ゆるキャラ」を三原市でも、市のイメージアップやまちづくりの一環として作ってみてはいかがでしょうか。三原市には多くの観光資源と歴史や文化がありますが、ただそれだけではまちの活気は生まれません。今ある資源をしっかりとPRしてゆくことが必要ではないでしょうか。そこで広報委員会では、全国的に地域情報を発信できるようなみんなから愛される三原市の「ゆるキャラ」誕生に向けての可能性を模索してゆきたいと思えます。



「ゆるキャラ」って何?!

「ゆるキャラ」とは「ゆるいマスコットキャラクター」の略で、イベントやキャンペーンや地域おこしなど、地域全般のPRに使用するマスコットのことです。漫画家やイラストレーターや評論家として有名なみうらじゆんさんが考案したとされ、「ゆるキャラ」に必要な条件として三つの条件を挙げています(下表参照)。この条件の中に「郷土愛」が含まれていることから、地域おこし・まちづくりの要素が強いと感じられます。

「ゆるキャラ」の三カ条

1. 郷土愛に満ち溢れた強いメッセージ性があること。
2. 立ち居振る舞いが不安定かつユニークであること。
3. 愛すべき、ゆるさ、持ち合わせている事。

グランプリで高まる経済効果

昨年の2012年11月25日「ゆるキャラグランプリ2012」の結果が発表され、愛媛県今治市の観光キャラクター「バリエさん」がグランプリに選ばれました。

2011年にグランプリに選ばれた熊本県のゆるキャラ「くまモン」に至っては2011年の関連商品の売上の売上高が25億円、2012年の1月から6月で118億円以上になったと発表されたというところもあり「バリエさん」の地元愛媛県今治市でも今後の経済効果に期待が高まっています。このことから「ゆるキャラ」にはまちづくりの大きな可能性を秘めていると考えます。

ゆるキャラの作り方

「ゆるキャラ」誕生への経緯はそれぞれの地域によって違うようです。自治体からの公募による誕生、観光協会からデザイナーへの委託、地域の魅力アピールのため県外提案したものを県が受け入れる「パターンなどさまざまです。三原市には、2015年に新三原市合併10周

年や2017年には三原城築城450周年などまちをあげて取り組むことにより賑わいを生むことができる可能性を秘めた年が控えています。これらに向けて三原市全体から愛され親しまれるゆるキャラ作りのため、市民から公募しても良いでしょうし、例えば今後の三原市を背負ってゆく市内の小学生や中学生の夏休みの宿題としてみてはいかがでしょうか。子どもたちがキャラクターを考えてゆく中で、三原市の歴史や文化に触れることで三原のまちについて考えることにより、郷土愛を育むことや三原の明るい未来に繋がってゆくのではないかと考えます。

やっさもっさ (仮)

3月号予告

- 緊急突撃アンケート〜久井編〜
- ゆるキャラ誕生に向けて第2弾〜今治市現地取材〜

やっさもっさでは、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

社団法人 三原青年会議所 公式ホームページと公式Facebookをご存じですか? 興味ある方は下記URLからアクセス!

ホームページ(事業告知に組織情報、WEB版やっさもっさ等)

<http://www.mihara-jc.com/> / 三原JC 検索

Facebook(活動状況やメンバー紹介を随時更新!!)

<http://www.facebook.com/mihara-jc>

やっさもっさチャンネル

今月のやっさもっさ新聞の内容は三原テレビにて下記の日程(※)で放送予定です

7:30	8:25	8:26	8:27	8:28	8:31	8:32	8:33
11:30							
13:30							
17:00							
19:30							
22:00							

一緒に三原を元気にしよう!

(社)三原青年会議所では新規会員を募集しています!

入会資格…年齢25〜35歳
性別不問、三原市内及び近郊に在住、勤務されている方
入会方法…詳しくは、右記お問い合わせ先まで

お問い合わせ先 社団法人 三原青年会議所

〒723-0052 三原市普賢4-8-1 三原商工会議所内
TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com

事務局 社団法人 三原青年会議所
副会長 総務・広報委員会



Restart

やっさもっさ

三原JCビジョン
誇り創

4月3日はポポロに集合!!

〜観て・聴いて・考えて公開討論会開催!(予定)〜

社団法人 三原青年会議所では本年4月に開催される三原市長選挙に向けて、公開討論会を企画しています。公開討論会では、立候補予定者に政策や考えを発表して頂き、三原市の有権者に投票時の判断材料を得て頂くと共に、三原の未来について考えて頂くことで市政やまちへの関心を高めることを目的としています。 ※公開討論会の簡単な概要については下記参照

日 ち: 4月3日(水曜日) (予定)
場 所: 三原市芸術文化センター ポポロ
開 場: 18時30分〜
開 会: 19時00分〜
21時00分
入場料無料
※先着1100名様限定

テーマ別の討論

三原のまちの課題や将来像など、質問に答えていただきます。

Q×質問

趣味や日頃の生活等について答えてもらい、性格や人間性を知ることができます。

事前公募質問

事前に市民より公募した質問に対して討論を交わしてもらいます。



※このイラストはイメージ図です。2月25日時点で候補予定者の人数は決まっております。



候補予定者の考えや政策を知ること、有権者は投票時の判断基準を得ることができます。

本社「やっさもっさ」は、1月から11月まで毎月1回(25日)発行し、新聞折り込みを中心に配布しております。何卒ご愛読ください。

またかきいたか

「できる人が、できる時に、できる事をする。」 ~東日本大震災後の今、福島県南相馬市の現状~

この家、社団法人三原青年会議所竹光理事長が5月9日~8日にかけて高校生災害復興支援ボランティア派遣隊の引率として東日本大震災で大きな被害を受けている福島県南相馬市(被災前人口71,561人)へ行って来ました。

復興未だ進まず

最初に向かった先は、福島第一原発より20km圏内である南相馬市小高区。ここは震災から1年後に警戒区域から旧警戒区域となり、一定時間の立ち入り許可が得られた場所です。

被災から2年余りが経ついま、そこで目にした光景は、未だ瓦礫撤去は済んでおらず上下水道も回復していない町の姿でした。御存じのとおり津波と地震による被害に加えて原発事故による影響が大きく、行政では対応しづらい状況となっており、また、多くの若者が町から離れ、人手も足りず他地域から集まるボランティアスタッフに頼らざるを得ない状況となっています。

現在、約16,000人あまりの方が避難を余儀なくされ、うち約5,600人が仮設住宅で暮ら

し、居住者数はもちろん、人口は被災当時から子どもや若者を中心に減少が続いています。家族と離れ離れになり多くのお年寄りが「年数が経過することに出て行った者が戻ってくる可能性は低い」「戻れるようになっても病院が無い」と一貫明るく振る舞いながらも寂しく語っておられました。風評被害は消えることなく、心ない言葉から傷つき心を痛めている方も多くいます。



明るい未来に向かって

被災者は、あらゆる不安が積み重ならぬ一日でも早く自分の家に戻れる事を願っています。また、ボランティアをはじめ復興作業に関わる方たちも先が見えない不安を抱えながら危険を省みず作業を続けておられます。

その様な中、広島県から訪れたことに対して被災者や作業員の方たちに大変喜ばれました。

一人ひとりが出来る事は限られますが、力になれる事はいくらかもあります。スローガンの通り「できる人が、できる時に、できる事をする。」ことが重要だと感じました。

社団法人 三原青年会議所 4月例会 報告

JAYCEEの力向上委員会(向井委員長)は4月19日(金)に三原国際ホテルにて、明確な意思と的確な判断力を持ち行動できる手法を学び、リーダーとしての資質の向上を目的とした4月例会を開催致しました。本例会では、公益社団法人 日本青年会議所認定 トレーナーの三ツ井 仁講師をお招きしVisual Future(ビジュアル・フューチャー)について学びました。

ビジュアル・フューチャーって何?!

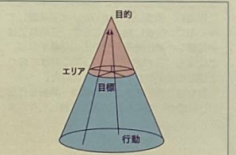
問題解決のために行動が必要だと言われてますが、行動は「解決策」ではなく「手段」です。確かに行動なくして問題は解決しませんが、目的のない行動では意味がありません。行動するときには必ず目的があります。目的がない目標はあり得ないし、目標のない行動はありえません。ところが多くの人は目的も目標も明確にしないで話し合ったり考えたりします。これではいつまでも問題解決になりません。物事を目的から考えて最適に行動

することが重要です。それがビジュアル・フューチャーの概要です。

物事は全て「目的・目標・行動」で考えます。広い視野で考えれば人生そのものがビジュアル・フューチャーの円盤に例えられます。「あなたの人生は何のためにありますか?」この質問の答えが「マイホームがほしい!」や「かっこいいスポーツカーに乗りたい!」だとしたらそれはあくまで目標です。それが手に入った段階で人生の目的を見失ってしまいます。その目標の上には「豊かな生活」や「楽しい生活」などの目的があるはずなのに、目標を人生の目的と思

い込んでしまう人たちがいます。人生の目的を実現するために必要なのは「最適な目標」と「最適な行動」の選択です。「最適な選択」をもらい、人生の目的を叶えるツール、それがビジュアル・フューチャーです。

4月例会で目的を持ちそれに対する目標を立て行動することの重要性をしっかりと学びました。この例会で学んだことを活かして今後のまちづくり活動に繋げてゆきます。



ホームページに関するお詫び

社団法人 三原青年会議所 公式ホームページが議事録により4月1日より利用できない状態(5月15日現在)となっています。復旧までの間は一切の情報を閲覧できないため、みなさまへご迷惑をおかけしております。早期の復旧を目指し対応しておりますので、ご理解のほど何卒よろしくお願い致します。

やっさもっさチャンネル

今月のやっさもっさ新編の内容は三原テレビにて下記の日程(日)で放送予定です

7:30	●	●	●	●	●	●	●
11:30	●	●	●	●	●	●	●
13:30	●	●	●	●	●	●	●
17:00	●	●	●	●	●	●	●
19:30	●	●	●	●	●	●	●
22:00	●	●	●	●	●	●	●

やっさもっさ(伝言板)

6月号予告
『三原の共育力向上に向けて』
やっさもっさは、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

お問い合わせ先
社団法人 三原青年会議所
〒723-0052 三原市菅実4-8-1 三原商工会議所内
TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141
Eメール info@mihara-jc.com

発行 社団法人 三原青年会議所
編集 広報委員会

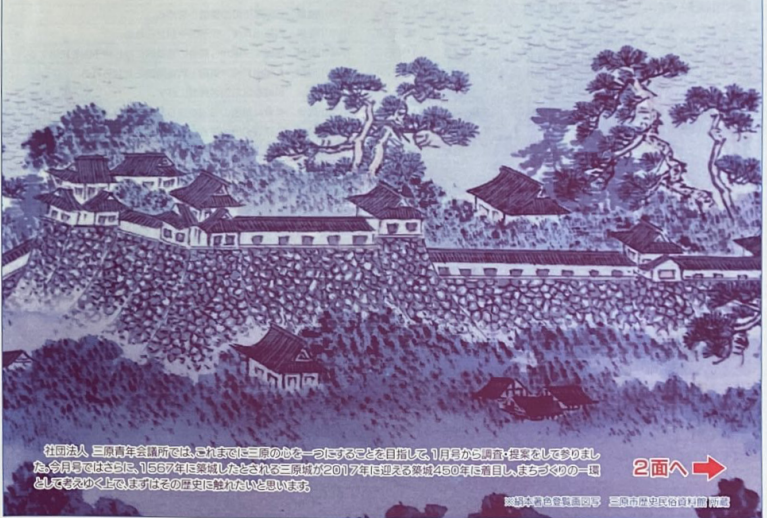
※ 賛助の方は、こちらからお問い合わせ下さい。

JCI 社団法人 三原青年会議所新聞 第413号 5月号 発行日 2013年5月25日

Restart やっさもっさ 三原JCビジョン 誇想力 創

三原の心を一つに

~三原城築城450年に向けて~



社団法人 三原青年会議所では、三原城を三原の心を一つにすることを目指し、1月号から調査・提案をしつづけています。今月号ではさらに、1567年に築城したとされる三原城が2017年に迎える築城450年を目前し、まちづくりの一環として城跡の活用はその歴史に背かないと思われ、

2人かきいぶん

◆昨年十二月に第二次安倍内閣が誕生し、大綱を金融政策・二機動的な財政出動・民間投資を喚起する成長戦略という三つの基本方針を表明した。この三本の矢は長期にわたるデフレから脱却し、日本経済回復を目指すものであり、一連の経済政策の進捗として「アベノミクス」呼ばれ、一九八〇年代の米田レゾナン政権がかかげた経済政策「カムフラスタ」になんともである◆新内閣発足から約五ヶ月が経過し、円安や株高上昇という結果から、アベノミクス市場に受け入れられ、期待は大きいと感じる。そして、その期待から夢を膨らませて、その人も多くいるのではないだろうか。夢の実現のためにはビジョンを作成し、具体的な計画を練る必要がある。そして、それを分りやすく示すことが賛同者や協力者を増やすことにつながる。実現はその数に上りて大きく左右される◆国民が選んだこの国のリーダーは将来との分野を無視して国の発展を目指すのか。ビジョンはどこまでかありやすく国民に示さるのか。財政赤字の記録的悪化という結果を招いた「リーマン・ショック」にちなむのは各層だけに留まらず、むしろ、期待感を裏切るとして三本目の矢、成長戦略の具体的な政策の全貌に注目したい。

本誌「やっさもっさ」は、1月から11月まで毎月1回(25日)発行し、新聞折り込みを中心に配布しております。何卒ご愛読ください。

三原のゆるキャラ 実現にむけて ～彦根市キャラクター「ひこにゃん」取材編～

本年度、広報委員会では「三原のゆるキャラ実現に向けて」と題しまして、取材や調査を行なっています。今回は「ひこにゃん」で有名な滋賀県彦根市(人口約11万2000人)の産業部観光振興課の小川祐輝(おがわゆうき)主事のもとにお伺いし、「ひこにゃん」の誕生から現在の状況、また、今後の活動についてお聞きしてきました。



『ひこにゃん』の誕生秘話

三原JC
「ひこにゃん誕生の経緯を教えてください。」

小川主事
「ひこにゃんは、2007年に約8か月間かけて開催された彦根城築城400年祭の宣伝PRのために生まれました。余談ですが、祭りの運営費は5億円です。市から4億円、残り1億円を企業など各団体から集めました。」

三原JC
「どのような方法で制作されましたか。」

小川主事
「400年祭実行委員会を立ち上げ、10社強の業者に依頼し、デザインコンペを行いました。応募していただいた業者には参加費を提供し、選ばれた1社には著作権を100万円で行実行委員会に譲渡していただきました。」

三原JC
「なぜデザインコンペにされたのですか。」

小川主事
「公募にしようとして、作品数が膨大になってしまい、選ぶのが大変になってしまいます。ですが「ひこにゃん」という名称だけは、日本全国から公募させていただき、約1000件の応募の中から選んでいただきました。」

『ひこにゃん』の運営方法

三原JC
「実行委員会はどう組織されていますか。」

小川主事
「商工会議所、青年会議所、滋賀大学などはじめとする様々な団体から出向していただいています。当時の実行委員長は商工会議所の会頭がされていましたが、実務としては市が事務局を担っていました。」

三原JC
「現在も実行委員会は活動されていますか。」

小川主事
「実行委員会は築城400年祭が終わった時に解散致しました。ひこにゃんもその時に役目を終える予定でしたが、市民や周りからの後押しがあり、現在は彦根市が運営しています。」

『ひこにゃん』の現状と経済効果

三原JC
「現在の活動状況を教えてください。」

小川主事
「4月から365日、彦根城で毎日1日3回お客様をお待ちしています。その他にも彦根城以外の場所に市内内外を含め年間約100件のPRに出ています。」

三原JC
「把握している経済効果を教えてください。」

小川主事
「ひこにゃんに関わる全体の経済効果は分かりませんが、ひこにゃんグッズの売上が築城400年祭当時で最高約17億円ありました。当初は、実行委員会が解散して右肩下がりに売りが落ちていくと思いましたが、おかげさまで現在でも年間8億から10億円で推移しています。」

生き残るための今後の戦略

三原JC
「今後の戦略、活動について教えてください。」

小川主事
「その時代に合わせた発展させていかなければなりません。ひこにゃんがブレイクしたきっかけは情報戦略です。誕生当時はfacebookやツイッターはありませんでした。当時で即時性があるものと言えばブログくらいでした。しかも、まだ若者の間のみままりつつある状況でした。そこに行政としては移し目をつけて発信して行ったことが良かったと思います。祭りのホームページには別にブログを開説し、若い世代に見ていただく事によってブログが広がり、更にはマスコミにも広がったという経緯があります。また、ひこにゃんもfacebookを去年から立ち上げ、今以上に活かす動きをしています。」

7月号予告

今回の取材を終えて、まず彦根市と三原市に共通点を感じました。人口的に変わりがなく、築城400年の時に大きな祭りを催し、三原も4年後には三原城築城450年を迎えます。ひこにゃんは築城400年祭のPRキャラクターとして生まれていますが、400年祭の前からPR活動の為、全国を飛び回り成功を収めています。三原は2年後には合併10周年を迎えます。どのようにまちを盛り上げてゆかかしっかりと考えなければなりません。広報委員会では今後も「ゆるキャラ」実現のため調査・研究いたします。

7月号予告
三原の共育力向上に向けて!!
三原の「ゆるキャラ」実現に向けて
～しまねっ取材編～

やっさもっさチャンネル

今月のやっさもっさチャンネルの内容は三原テレビにて下記の日程(※)で放送予定です。

	6/24	6/25	6/26	6/27	6/28	6/29	6/30
7:30	●	●	●	●	●	●	●
11:30	●	●	●	●	●	●	●
17:00	●	●	●	●	●	●	●
19:30	●	●	●	●	●	●	●
22:00	●	●	●	●	●	●	●

第38回三原やっさ祭り 一般審査員募集!!

日時: 8月9日(金) 19時30分～21時30分
8月10日(土) 18時00分～22時00分
場所: 駅前市民広場

募集締め切り 7月12日(金)まで

詳しいお問い合わせにつきましては下記窓口にご連絡ください。
三原やっさ祭り実行委員会事務局
電話番号: 0848-62-6155 担当: 森山

お問い合わせ先
社団法人 三原青年会議所
〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141

メール info@mihara-jc.com

発行 社団法人 三原青年会議所
編集 広報委員会

三原の共育力向上に向けて ～青少年アンビシャス運動に学ぶ～



現在の子どもを取り巻く環境は、自己表現の場が乏しい上に想像力も多くの可能性を持つ子どもたちは学校や家庭の中で多くの様々な学びの場が乏しいと考えます。子どもたちが地域の方と関わり、その知識や経験を学び人間関係の大切さや心の豊かさを学ぶの場は必要ではないでしょうか。

そのためには、地域の人たちが子どもたちに積極的に関わってゆくことが重要だと考えます。そこで今月号では、アンビシャスな子どもたちの育成を目指して、市民運動として取り組まれている福岡県行新社会推進部青少年アンビシャス運動推進室にお伺いし、この運動について調査をしてみました。

2面へ

またかまたか

◆例外を許さない徹底した姿勢、日本で成功した「マイペース」は、大半の人が東京やニューヨークではないだろうか。今年三〇周年を迎えている東京やニューヨークでの「サビラス」についての調査を数年前に聞いたことがある。株客の語、国内市場の話、それらにまつわる心算をメモリー

◆「夢と魔法の国」は市場を奪って、そのための徹底した姿勢を貫いている。これは言うまでもないが、その中でも印象に残り、納得させられる話がある。それは、例外を許さないという姿勢、従業員が関係者であろうと勤務時間外には前の来場者と同じ扱いになる。そこにはどんな背景も言及しない。すべての人が平等になるという事、簡単にこの様だが、頭バズという言葉があるように、社会を生きていく上で様々な人間関係があり、立場や言力を誇示する人間が一人でも居ればかなり困難なことがよく思う。◆例外を認めれば、そこから前向きに徹底した姿勢とは、か離れたものとなることは容易に想像がつく。直接感じるサービスで全ての人を満足させることは現実的には不可能な事のように思うが、徹底した考えの元、貫く期間見せる姿勢や言葉遣いは、不満のない空間の演出には大きな基礎となり、信頼へとなる。◆有益な立場と云うのはその事柄に後事している時のみ有効という事を忘れる事無く、自分自身を見つめ、日々を生活して行くための事である。

本誌「やっさもっさ」は、1月から11月まで毎月1回(25日)発行し、新聞折り込みを中心に配布しております。何卒ご愛読ください。



三原のゆるキャラ 実現にむけて 島根観光キャラクター「しまねっこ」編

本年度、広報委員会では「ゆるキャラ」について取材や調査を行なっています。今回は島根県の北に位置する島根県に取材に行き、観光キャラクター「しまねっこ」の誕生から現在の状況や今後の活動について公益社団法人 島根県観光連盟 三島 仰 主任書記(以下、島根県)にお聞きしました。

『しまねっこ』が生まれた背景

三原JC 「ゆるキャラが出来たきっかけを教えてください。」
島根県 「全国的に『ひこにゃん』や『せんたくん』等のゆるキャラが誕生してからムーブメントとしてゆるキャラブームが始まった中で島根県には観光キャラクターが無かったので、ちょうど良い機会だなというところもあり、ゆるキャラを作って島根県をPRしていくために一つ一つのツールとして使っていくという考えからです。」
三原JC 「島根県としてはなく、島根県内の各市町村には無かったのですか。」
島根県 「市単位ではあったのですが、県全体のイメージとしてそういったものがありませんでした。元々、神話にゆかりがあるキャラクターはいたのですが、観光キャラクターというもので作ったものはなかったの、観光という肩書きとするもので作りました。」

ゆるキャラグランプリ21位から6位の躍進

三原JC 「平成23年度にゆるキャラグランプリにエントリーされていますね。」
島根県 「そうですね。優勝しようという気持ちでスタートしました。」
三原JC 「ゆるキャラグランプリに出場して平成23年度は21位でしたが、翌年は6位に躍進していますね。その要因は。」
島根県 「露出が増えてきたというのがあると思います。我々もしまねっこを応援していますし、各場面で投票など呼びかけをしたり、様々なアピールを行なってきました。」

三原JC 「全国各地を回ったのですか。」
島根県 「ゆるキャラのイベントには積極的に出かけました。鳥取、彦根、羽生のゆるキャラのイベントには参加しました。あとは島根県をPRする機会が異なっていた場合はしまねっこも一緒に出かけたり、ブログやツイッターを使って協力を呼びかけたりしました。」



認知度と活動状況

三原JC 「観光キャラクターとして認知度と集客力はどのくらいを感じていますか。」
島根県 「認知度についてはかなり上がってきていると感じています。県内であれば相当の認知度があるのではないかと感じています。去年の神話博しまねっこがあった時は毎日ステージに上がっていました。しまねっこつなぐダンスを作った幼稚園や保育園を回って子どもたちと触れ合う機会を作ったりしました。実際にしまねっこを見たがり触れ合ったりという機会を作ることでも認知度はアップしてきていると感じています。」
三原JC 「活動状況を教えてください。」

島根県 「キャラクターの管理は県がしています。週末を中心に週2〜3日活動しています。運営形態としては、着ぐるみの管理は県で、観光連盟で事務職をしています。」

三原JC 「経済効果は把握されていますか。」
島根県 「商標の管理だけで言えば売上の1%を許諾料として頂くようにして、平成24年度が530万でした。しまねっこの商品が全て売れていると考えれば100倍となるので5倍になってきます。あくまで全ての商品が売れたということが前提です。商品としての経済効果だけでなくそれ以外を考えると多少あると思います。」

『しまねっこ』の今後の展開

三原JC 「今後の展開、狙いなどがあれば教えてください。」
島根県 「認知度が上がって商品が幅広く展開されれば『しまねっこ』を目的にお客さんが来てもらえるようになればいいと思います。『ひこにゃん』等のキャラクターになってくるとそれに会うために訪れるというのが、集客の要因になっていきます。そのまもの出来たら素晴らしいことだと思います。今年からFacebookは始まりますし、全国的にもゆるキャラを使ったCMを各企業がしています。『しまねっこ』も選んで頂いているのでそういった意味では非常に追い風になって全国的にも露出が増えていきます。」

取材を終えて

今回、島根県にお伺いし、ゆるキャラを製作してきた認知してもらいまで、しっかりとPRをされたことがよく分かりました。毎日ステージに上がった、幼稚園や保育園を回ったことです。実際に目で見て触れ合う機会を作ること、認知度を上げてきたよかったです。このようにして認知してもらいながら戦略が必要であるということを強く感じました。広報委員会では今後も三原の「ゆるキャラ」実現に向けて調査・研究をしてまいります。

Restart

やっさもっさ

三原JCビジョン
誇り 想力 創力

地域で挑戦! 6万個 ドミノチャレンジ

ドミノでつなぐ地域の絆

8月24日開催

次世代育成プロジェクト ドミノで育む地域の絆

富士山が世界遺産に登録され、観光、登山客にまつわる、しかし登録される前は、国連の専門機関である教育科学文化機関ユネスコの諮問機関国際記念物遺跡会議(イコモス)が、富士山を世界文化遺産に登録するよう勧告したことについて、承認の条件として、ふもと青木ヶ原樹海を保護するよう求めていたことがあった。イコモスは、富士山を日本の国家的象徴と定義するにも、その文化的影響は日本国内にとどまらず、と認定し、シン・デザインに並ぶ日本文化として、その独自性を高く評価した。一方で、自説の名刺とされる山頂の青木ヶ原樹海を問題視し、富士山の遺跡である不死の山のふもとに死体が山積する現状は、世界遺産にふさわしい景観とは言えないとして、青木ヶ原樹海の森林約三千ヘクタールを全て伐採し、牧草地として転用するよう求めた。青木ヶ原樹海は国の天然記念物に指定されていることから、世界遺産登録へ条件として突きつけられた今回の伐採案は、担当機関の文化庁も難色を示している。だが、過去イコモスの要求を拒否した国が勧告を取り消された前例もあることから、日本がイコモス案に同意しなかった場合、登録勧告を撤回する可能性もあった事は市民には伝わっていた。

本誌「やっさもっさ」は、1月から11月まで毎月1回(25日)発行し、新聞折り込みを中心に配布しております。何卒ご愛読ください。

やっさもっさチャンネル

今月のやっさもっさ新番組の内容は三原テレビにて下記の日程(●)で放送予定です

	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2	8/3	8/4
7:30	●	●	●	●	●	●	●
11:30	●	●	●	●	●	●	●
17:00	●	●	●	●	●	●	●
19:30	●	●	●	●	●	●	●
22:00	●	●	●	●	●	●	●

やっさもっさ(仮)8月号

8月号予告

- 三原青年会議所 新入会員紹介
- 第38回三原やっさ祭りを終えて!!

やっさもっさでは、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

お問い合わせ先
社団法人 三原青年会議所
〒723-0052 三原市青木4-8-1 三原商工会議所内
TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141
Eメール: info@mhara-jc.com

発行 社団法人 三原青年会議所
編集 広報委員会

購読の方は、こちらからお問い合わせ下さい。

2013年度 社団法人 三原青年会議所 新入会員のご紹介

新たな5名の仲間が加入致しました。
三原のまちのために頑張りますので、よろしくお願い致します!!

 かたやま しんいち 片山 晋一 S50. 7. 31 生 砲台山自動車 まちの未来選択委員会	 くわはら みつひこ 桑原 光彦 S56. 6. 10 生 御調八幡宮 広報委員会	 たなか りょうすけ 田中 亮介 S55. 5. 27 生 田中運輸㈱ 総務交流委員会	 ふじい としひさ 藤井 稔久 S55. 10. 9 生 総理士法人 富士会計 JAYCEEの力向上委員会	 よしみず ただすけ 由水 忠相 S49. 7. 16 生 由水酒販㈱ 共育力向上委員会
---	--	--	--	---

第23回参議院通常選挙を終えて…まちの未来への意識を高める

今年、私たち三原市民にとって選挙の年と言っても過言ではないでしょう。4月には三原市市長選挙・三原市議会選挙を終え、7月には参議院通常選挙が行われ、11月には広島県知事の任期満了に伴い広島県知事選挙が行われる予定です。市民のみならず投票に行かれました。最近では、選挙への意識向上や、投票率向上のために新たな試みや工夫がされています。今回は、その試みや工夫の紹介と投票率向上の重要性を考えます。

<p>『公開討論会』と『e-みらせん』</p> <p>本年4月に行われた、三原市市長選挙・三原市議会議員選挙。皆さんは何を基準に投票されましたか。「知り合いが選挙に出たから」「お薦めされたから」「地域の人だから」「この人なら三原市を良くしてくれそうだから」と様々な理由で投票をされたと思います。しかし、一番重要なことは政策だと考えます。さらに言うと、実現するための具体的な政策が重要だと考えます。そういった意味では我々が今年開催した「e-みらせん」公開討論会は非常に重要であったと考えます。これらも継続が必要であると考えます。「e-みらせん」につきましては、インターネット上で公開しておりますので、お気軽にご覧いただければと思います。</p> <p><input type="text" value="e-みらせん"/> <input type="button" value="検索"/></p>	<p>投票率向上への新たな試み</p> <p>7月21日(日)に、第23回参議院通常選挙が行われました。今回は、広島選挙区から6名が立候補され、全国的にも自民党の圧勝という形を閉じました。この参議院通常選挙で大きな反響を呼んだのが、ネット選挙ではないでしょうか。公職選挙法が改正され、これまでできなかったことができるようになりました。具体的には、政党や候補者がホームページやブログの更新をしたり、ツイッターやフェイスブックを使って、情報を発信したり、投票の呼びかけや街頭演説の案内をすることができるようになりました。しかしながら、候補者を買ったつもりでも、ネット上での誹謗中傷などはじめとした不安要素もありますが、選挙がより身近なものになったと思います。また、広島県として投票率向上に向けて取り組まれた「フラッシュモブ」もよく目にしました。このフラッシュモブはメールやSNS</p>
---	--

<p>やっさもっさチャンネル</p> <p>今月のやっさもっさ新編の内容は三原テレビにて下記の日程(●)で放送予定です</p> <table border="1"> <tr> <th>日</th> <th>26</th> <th>27</th> <th>28</th> <th>29</th> <th>30</th> <th>31</th> </tr> <tr> <td>7:30</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>11:30</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>13:30</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>17:00</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>19:30</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>22:00</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> </table>	日	26	27	28	29	30	31	7:30	●	●	●	●	●	●	11:30	●	●	●	●	●	●	13:30	●	●	●	●	●	●	17:00	●	●	●	●	●	●	19:30	●	●	●	●	●	●	22:00	●	●	●	●	●	●	<p>やっさもっさ(伝言板)</p> <p>9月号予告</p> <p>ドミノで育む地域の絆を終えて…</p> <p>やっさもっさでは、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。</p>	<p>お問い合わせ先</p> <p>社団法人 三原青年会議所</p> <p>〒723-0052 三原市権堂4-8-1 三原商工会議所内 TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141</p> <p>メール info@mihara-jc.com</p> <p>発行 社団法人 三原青年会議所 編集 広報委員会</p>
日	26	27	28	29	30	31																																													
7:30	●	●	●	●	●	●																																													
11:30	●	●	●	●	●	●																																													
13:30	●	●	●	●	●	●																																													
17:00	●	●	●	●	●	●																																													
19:30	●	●	●	●	●	●																																													
22:00	●	●	●	●	●	●																																													

Restart

やっさもっさ

真夏の夜に咲いた!!
やっさもっさで笑顔の人の華

2013

第38回三原やっさもっさ祭り



またかきいたか

今年、伊勢神宮では二〇年に一度、神々の引継ぎといわれる式年遷宮が行なわれていく。式年遷宮とは、神宮の内宮、外宮、別宮などの社殿を二〇年ごとにつくり替える新しい神殿に神座を遷すこと。およそ三〇〇年前から二〇〇年に一度行なわれてきた稀有な神事である。三〇〇年前といえは世界最古の木造建築物で知られる法隆寺が建てられたころで、長年にわたる建築技術が蓄積された。それにもかかわらず、二〇年に一度同じ建築物を建立するという世界にも類を見ない仕組みをくりくり行ってきた日本人の創造力は世界に誇れるものであり、宇ぶべきことがある。なぜ、式年遷宮が行なわれるのか。諸説あるが、技術の伝承も目的の一つとされており、すべてを作り変えるのは大変だが、それによって伝承工芸の優れた技術を守り伝えられ、建て替えて出る古材など、また使用できるものは各地の神社の改修などに再利用される。サイクルなどから引き継がれて来た歴史の伝統をイカメだと見よう。定期的に皆で「福」にらつこのを行ない続けることの大切さをはじめ式年遷宮は様々な示唆を生み出してくれる。そして、ここにある常に生き生きとしたみずみずしさを「非常事態の思想」は、先人たちが長い歴史をかけた守り伝えてきた素晴らしい伝統文化であり、日本人の心身の良しさを象徴しているといえるだろう。

本誌「やっさもっさ」は、1月から11月まで毎月1回(25日)発行し、新聞折り込みを中心に配布しております。何卒ご愛読ください。

次世代育成プロジェクトを終えて!ドミノで繋いだ地域の絆

共育力向上委員会(浜本和宏委員長)は、8月24日(土)に沼田東小学校体育館において、地域の大人が子どもたちの成長と共に育む共育力の向上を目指した事業を開催いたしました。先月号ではその事業当日の内容についてご紹介しましたが、今月号では事業を終えて、実施地域の参加者の感想と今後の活動について報告いたします。

地域の人		ドミノ参加者の感想集		子ども達	
保護者		保護者		子ども達	
Aさん	楽しく参加させて頂きました。子ども達も楽しそうでしたが、地域の方や保護者の一生懸命な姿がとても印象的でした。自分の父親や母親のやり方を知るきっかけをみられることは、子ども達の自信の糧になると思います。また地域の人が自分たちと同じ目標に向かって一生懸命行う姿を見て子ども達も何かを感じていただけたのではないかと思います。	Aさん	いろんな人と関わりを持ちそれぞれ刺激される機会があったと思う。地域の方は子ども達から元気を買ったり、逆に子ども達にどう話せばわかってもらえるか、やる気にさせるかを考えたりしながら、そんな中で子ども達は地域の人から褒められたり、怒られたりして、いつもの生活にはない体験ができました。この度の目的はとても大切なことだと思います。	Aちゃん	協力して話しながらできた普段話さない地域の人と交流ができた。
Bさん	子どもと話すうちに親は親をよく知っていたのが嬉しかった。直ぐに結果が出るものではないが、町内の運動会等の行事で話しかけるきっかけになったと感じた。とても良い経験ができたと思います。	Bさん	初めは緊張して話さずに出なかったけれど、時間がたつにつれ話せるようになりました。また保護者同士、保護者と地域の方とも子どもだけじゃなく一緒に話しながら話さずにはいられなかった。地域の人から話を聞いたり話さずにはいられなかった。	Bちゃん	失敗したりする中でいろいろな話が出来た。
				Cちゃん	今まで全く話さなかった人と話さずにはいられなかった。
				Dちゃん	協力しながらドミノを完成できた普段話さない人と話さずにはいられなかった。
				Eちゃん	地域の人からリーダーになり指導してくれたのでスムーズに行えた様々な地域の人と話さずにはいられなかった。

本事業を終えて

ドミノと言う共通の話題を持ち作成する中で多くの方から子どもと大人が交流することが出来たとお祝いしており、取り組みを通じた子どもと大人の互いがつながりを強くするきっかけが出来たのではないかと感じております。また長時間の難しい作業に感じて、同じ目標に向かい協力することで、最後には人の協力から成りえる大きな達成感を感じていただけたのではないのでしょうか。

この度の取り組みを、子ども達のために家庭・学校・地域と多くの皆様にご協力いただき感謝することのできた事例として、沼田東合同町内会青少年育成部の今後の活動につなぐ。三原市全域から注目されるモデル地域として取り組みを進めて頂くことが三原市全体の共育力の向上につながるかと考えております。

我々三原青年会議所では、この事業を通じた経験を活かし、今後の明るい豊かなまちづくり活動へつなげてゆきたいと考えております。最後になりますが、本事業を開催するにあたり、ご協力いただきました皆様には心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

三原の「ゆるキャラ」実現に向けて! ついに動き出す!!

広報委員会では、年当初から「ゆるキャラ」について、さまざまな地域に取材にゆき、調査研究をまいりました。そして、その内容に関して本紙面を通じて発信することでまちの活性化の1つのアイテムとして「ゆるキャラ」の必要性を訴えてまいりました。

そのような中、一般社団法人 三原観光協会から、我々の考えに賛同していただけたという旨の連絡をいただきました。お話しをさせていただいた結果、一般社団法人 三原観光協会と協力し、三原の「ゆるキャラ」実現に向けて、動き出すことが決まりました。これから、来年度の誕生を目指して協議を進めてゆきます。また、具体的な進め方などは協議を重ねてゆく必要がありますが、更なる賛同者を集め、協力し合いより多くの市民に愛されるようなキャラクターを誕生させることができるよう活動してまいります。



やっさもっさチャンネル

今月のやっさもっさ新編の内容は三原テレビにて下記の日程(●)で放送予定です

10/28	10/29	10/30	10/31	11/1	11/2	11/3
7:30	●	●	●	●	●	●
11:30	●	●	●	●	●	●
13:30	●	●	●	●	●	●
17:00	●	●	●	●	●	●
19:30	●	●	●	●	●	●
22:00	●	●	●	●	●	●

やっさもっさ(風言風)

11月号予告

カレーライス会開催!!

~三原市長が語る~

お問い合わせ先

社団法人 三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内

TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com



三原で「フラッシュモブ」

Flash mob

三原城築城450年を直前に控えた今、「三原を元気にしたい!」そんな思いから企画されました。

素晴らしいことが大好きな方、三原をもっともっと明るく活気溢れる街にしたい、三原に沢山の思いを持っている方を募集しています。

11月3日(日)開催

浮城祭りにて実施!!

貴殿は「モブ」らないのか?

浮城祭りは今ある、異国特色、天下の豪傑が、天下を馳せ、海上に浮かんで見えることから「浮城」と呼ばれた三原城をテーマに、小早川甲斐守様による城下の地味なイベントを再現する。この小早川守様も再現され、かつての城下町の雰囲気を再現する。

「Flash Mob」は、インターネットを介して不特定多数の人間が公共の場に突然集い、目的を持って行動する行為。

「モブ」らないのか? 貴殿は「モブ」らないのか?

三原青年会議所では、今年度の活動として「Flash Mob」を開催いたします。三原を元気にしたい!そんな思いから企画されました。素晴らしいことが大好きな方、三原をもっともっと明るく活気溢れる街にしたい、三原に沢山の思いを持っている方を募集しています。

11月3日(日)開催

浮城祭りにて実施!!

貴殿は「モブ」らないのか?

三原青年会議所では、今年度の活動として「Flash Mob」を開催いたします。三原を元気にしたい!そんな思いから企画されました。素晴らしいことが大好きな方、三原をもっともっと明るく活気溢れる街にしたい、三原に沢山の思いを持っている方を募集しています。

本誌「やっさもっさ」は、1月から11月まで毎月1回(原則25日)発行し、新聞折り込みを中心に配布しております。何卒ご愛読ください。

三原市長と三原青年会議所理事が熱い議論を交わした!!

市長の考える三原の将来像は？!



三原JC
「事前に回答をいただいた3つの項目に関連して、共通しているのは行政と市民の双方向の情報共有が重要だと考えていると感じました。現在、市として情報共有についてお考えを伺っています。市長は具体的に教えてください。」

三原市長
「現状の三原市のホームページと発信の状況は非常に古いと感じています。今回、議会でも予算をいただいたのですが、完全にリニューアルするのは来年の4月になります。その後、ホームページやフェイスブックも出来るようになります。担当部署へ指示は出していますので、もう少しすると発信媒体が整理され発信力がつくと思います。」

三原JC

「三原青年会議所はフェイスブックを活用していただき、理事長の一言に対して多くの方に閲覧していただきました。市長もフェイスブックで発言を発信するとたくさんの方に読んでいただき、市長の考えが広く市民の方々に広まるのではないかと感じます。では、資質の高い三原市民づくりという所で『夢を出して』という言葉をお願いしています。市長の思い描いている三原の将来像を教えてください。」

三原市長

「三原の中学や高校を卒業された方が、三原から出られたままです。その一方で、三原に帰ってきたいと思わせるようなことをしなければなりません。これが三原の一つの夢と考えます。例えば、教育や伝統文化に力を入れておけば必ず三原に帰ってくるようになると思います。この地域は瀬戸内沿岸で温暖な気候であり災害が少ない、全てに恵まれているのです。こう言ったことを教育の場・社会の場で伝えて、必ず三原に帰ってくるようにする。郷土愛を育てることに繋がります。」

三原JC

「まちのオリジナルティに繋がるとありますが、三原築城450年祭に向けて何か動きができてきたら良いなと考えているのは第一歩になる事業を考えています。ここで回答いただいたのは、やっさ祭りや地域のお祭りなどを連携して発信していくと私は捉えています。市としてこの連携について教えてください。」

三原市長

「三原築城450年が平成29年、今から4年後です。来々から実行委員会を作っていくことと思っています。ハード事業、ソフト事業、歴史の整理を行ない三原築城450年を一体どこから始まったのか、そして郷土の歴史を整理した上で親善都市である瀬戸内や竹原、本郷、久井と連携して三原の創生事業とすれば、三原築城450年祭が非常に意義のあるものとなります。」

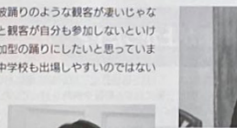


三原JC

「学校によって、性別によっても、年齢によっても、それぞれにやっさに取り組んで、それぞれに専念したいという事で参加が難しい場合に、やはり教育長や市長から参加を呼び掛けていただけた方が効果的だと思います。」

三原市長

「やっさ祭りの飾りが2日間あります。私の方では一つは見る飾りをする、もう一つは総参加型の飾りをするということを考えています。」



三原市長

「とりあえず、公民館とか体育館など空いているところを使ったら良いと思います。廃校をいかに有効利用していただける方にはお願しますと伝えています。例えば久井町では管理が難しいという話も出ています。」

三原JCからの事前質問その3

観光PRに力を入れておられると思いますが、来年度以降も継続して三原市のPRをしてゆかばならないと思います。三原市だけでPRしてゆかなくて、近隣の竹原市や尾道市と協力して1日ドライブマップや食べ歩きマップなど作ればさらに効果的にPRできるのではないかと思います。また「ゆるキャラ」ご当地アイドルなども大きな力になるのではないかと考えますがいかがでしょうか。

三原市長からの回答

- ・市単独ではなく三原から尾道尾道から三原などのルートを作る。
- ・臨空広域でもお互いに盛り上げてゆきましよう話をしている。
- ・ゆるキャラやご当地アイドルも募集してゆくよう検討はしております。
- ・若いなら選んで、誰も買ひゆるキャラとしてPRしても良い。
- ・今、竹原も小笠原も選んで選んでいる。三原で言えばあまり古いものがないが、船木屋や田代屋などはあったない。
- ・尾道と三原、竹原もあめ、おなが担当。尾三8日監所でもつくればおもしろいと思う。佛通寺第1番札所などにして。

三原JCからの事前質問その2

子どもやっさに関してですが、子ども達の郷土愛育成について、子どもやっさの全校参加ができれば、祭りを三原の伝統の継承としてゆく中で地域と子ども達のつながりを更に強くでき郷土愛へとつながると考えております。全校参加を実現させるためには、尾道みなと祭のようにトッピングダウンする方法も有効であると考えますが、天満市長の子どもやっさについての考えを教えてください。」

三原JC

「子どもやっさを少しずつ広めてゆきたいとの回答でしたが、私たちは数年前から校長会への参加や小学校を回るなど活動は続けております。その中で、参加に関して打ちの部分も感じており、今後トッピングダウンも必要と感じています。具体的には校長会や教育長へ、参加に対しての後押しをお願いしたいと考えます。」

三原市長

「この前から中学校を訪問しております。今年やっさ祭りに出ているのは宮浦中学校だけです。各中学校もそろそろやっさに出ようじゃないかという雰囲気教育長を中心にありますので、まず中学校から全校参加を目指したい。」

三原JC

「市長から各学校長に伝わっているのですか。」

三原市長からの回答

- ・三原やっさ祭りの知名度も出てきた。県内でも浸透してきた。
- ・できれば全員参加がゆきたいが、少しずつ広めてゆきたい。将来的に日割分前にはないかと思っている。時間をかけて広める。
- ・地域には地域の伝統文化もある。ちんこんかんや盆踊りなど、ここでやっさをすると反発があるので、時間をかけて広める。
- ・1日目は正調で見る飾りと思っているが、なかなか難しい。

三原市長

「訪問した宮浦中学校に加えて、それぞれ各校長と連絡を取っていますが、これからは何かが増えると思います。教育の現場ですらから教育長に聞いてもらった方が良いと考えます。私はそのフォローをするつもりです。」

三原JC

「私もやっさもっさという新聞を毎月出しており、その中でゆるキャラについて記事を書いています。事前の回答でゆるキャラに好意的な意見を頂戴していますが、三原市としてゆるキャラをつくってゆく考えがありますか。」

三原市長

「やはり三原市として分かるゆるキャラを考えてゆく必要はあると思います。皆さんから出てゆかれたら良いと思いますが、やはりだるまとかたごなど三原らしいものが良いと思います。」

三原JC

「実は、観光協会がこちらの考えに賛同して下さり、一緒にやってみようという話になっています。観光協会に加えて多くの団体のサポートにより皆さんに愛されるゆるキャラができて考えています。ふるさと情報発信協議会に協力していただけないかお願していますが、是非三原市からも協力いただけませんか。」



三原市長

「それはいいことですね。三原市にそういったお話を投げかけてくれたら、一緒に取組んでゆく方が良いと思います。10周年を迎えるのにゆきつり合うと思います。三原市広報ややっさもっさでゆるキャラ募集を発信されれば良いですね。」

三原JC

「市職員にも関わっていただくことは可能でしょうか。」

三原市長

「いいですよ。例えば職員を出すなど応援を頼むことはできます。連携を取ってゆきましよう。」

編集後記

本号(11月号)にて2013年度の(社)三原青年会議所新聞「やっさもっさ」は最終号を迎えることとなりました。本誌発行にあたり、ご愛読いただきました読者の皆様、ご協力いただきました皆様、取材にご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。本誌が少しでも多くの方の心に残り、まちづくりへの関心を持つきっかけとなれば幸いです。今後とも本誌を通じて当会議所の活動を発信してまいりますので、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。一年間ありがとうございました。

広報委員会一同

三原市立第一中学校	三原市立第二中学校	三原市立第三中学校	三原市立第四中学校	三原市立第五中学校	三原市立第六中学校	三原市立第七中学校	三原市立第八中学校	三原市立第九中学校	三原市立第十中学校	三原市立第十一中学校	三原市立第十二中学校	三原市立第十三中学校	三原市立第十四中学校	三原市立第十五中学校	三原市立第十六中学校	三原市立第十七中学校	三原市立第十八中学校	三原市立第十九中学校	三原市立第二十中学校	三原市立第二十一中学校	三原市立第二十二中学校	三原市立第二十三中学校	三原市立第二十四中学校	三原市立第二十五中学校	三原市立第二十六中学校	三原市立第二十七中学校	三原市立第二十八中学校	三原市立第二十九中学校	三原市立第三十中学校	三原市立第三十一中学校	三原市立第三十二中学校	三原市立第三十三中学校	三原市立第三十四中学校	三原市立第三十五中学校	三原市立第三十六中学校	三原市立第三十七中学校	三原市立第三十八中学校	三原市立第三十九中学校	三原市立第四十中学校	三原市立第四十一中学校	三原市立第四十二中学校	三原市立第四十三中学校	三原市立第四十四中学校	三原市立第四十五中学校	三原市立第四十六中学校	三原市立第四十七中学校	三原市立第四十八中学校	三原市立第四十九中学校	三原市立第五十中学校	三原市立第五十一中学校	三原市立第五十二中学校	三原市立第五十三中学校	三原市立第五十四中学校	三原市立第五十五中学校	三原市立第五十六中学校	三原市立第五十七中学校	三原市立第五十八中学校	三原市立第五十九中学校	三原市立第六十中学校	三原市立第六十一中学校	三原市立第六十二中学校	三原市立第六十三中学校	三原市立第六十四中学校	三原市立第六十五中学校	三原市立第六十六中学校	三原市立第六十七中学校	三原市立第六十八中学校	三原市立第六十九中学校	三原市立第七十中学校	三原市立第七十一中学校	三原市立第七十二中学校	三原市立第七十三中学校	三原市立第七十四中学校	三原市立第七十五中学校	三原市立第七十六中学校	三原市立第七十七中学校	三原市立第七十八中学校	三原市立第七十九中学校	三原市立第八十中学校	三原市立第八十一中学校	三原市立第八十二中学校	三原市立第八十三中学校	三原市立第八十四中学校	三原市立第八十五中学校	三原市立第八十六中学校	三原市立第八十七中学校	三原市立第八十八中学校	三原市立第八十九中学校	三原市立第九十中学校	三原市立第九十一中学校	三原市立第九十二中学校	三原市立第九十三中学校	三原市立第九十四中学校	三原市立第九十五中学校	三原市立第九十六中学校	三原市立第九十七中学校	三原市立第九十八中学校	三原市立第九十九中学校	三原市立第一百中学校
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------

三原市立第一小学校	三原市立第二小学校	三原市立第三小学校	三原市立第四小学校	三原市立第五小学校	三原市立第六小学校	三原市立第七小学校	三原市立第八小学校	三原市立第九小学校	三原市立第十小学校	三原市立第十一小学校	三原市立第十二小学校	三原市立第十三小学校	三原市立第十四小学校	三原市立第十五小学校	三原市立第十六小学校	三原市立第十七小学校	三原市立第十八小学校	三原市立第十九小学校	三原市立第二十小学校	三原市立第二十一小学校	三原市立第二十二小学校	三原市立第二十三小学校	三原市立第二十四小学校	三原市立第二十五小学校	三原市立第二十六小学校	三原市立第二十七小学校	三原市立第二十八小学校	三原市立第二十九小学校	三原市立第三十小学校	三原市立第三十一小学校	三原市立第三十二小学校	三原市立第三十三小学校	三原市立第三十四小学校	三原市立第三十五小学校	三原市立第三十六小学校	三原市立第三十七小学校	三原市立第三十八小学校	三原市立第三十九小学校	三原市立第四十小学校	三原市立第四十一小学校	三原市立第四十二小学校	三原市立第四十三小学校	三原市立第四十四小学校	三原市立第四十五小学校	三原市立第四十六小学校	三原市立第四十七小学校	三原市立第四十八小学校	三原市立第四十九小学校	三原市立第五十小学校	三原市立第五十一小学校	三原市立第五十二小学校	三原市立第五十三小学校	三原市立第五十四小学校	三原市立第五十五小学校	三原市立第五十六小学校	三原市立第五十七小学校	三原市立第五十八小学校	三原市立第五十九小学校	三原市立第六十小学校	三原市立第六十一小学校	三原市立第六十二小学校	三原市立第六十三小学校	三原市立第六十四小学校	三原市立第六十五小学校	三原市立第六十六小学校	三原市立第六十七小学校	三原市立第六十八小学校	三原市立第六十九小学校	三原市立第七十小学校	三原市立第七十一小学校	三原市立第七十二小学校	三原市立第七十三小学校	三原市立第七十四小学校	三原市立第七十五小学校	三原市立第七十六小学校	三原市立第七十七小学校	三原市立第七十八小学校	三原市立第七十九小学校	三原市立第八十小学校	三原市立第八十一小学校	三原市立第八十二小学校	三原市立第八十三小学校	三原市立第八十四小学校	三原市立第八十五小学校	三原市立第八十六小学校	三原市立第八十七小学校	三原市立第八十八小学校	三原市立第八十九小学校	三原市立第九十小学校	三原市立第九十一小学校	三原市立第九十二小学校	三原市立第九十三小学校	三原市立第九十四小学校	三原市立第九十五小学校	三原市立第九十六小学校	三原市立第九十七小学校	三原市立第九十八小学校	三原市立第九十九小学校	三原市立第一百小学校
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------